



ラックの取り付けの説明

System Storage EXP2512 と EXP2524 Express ストレージ・エンクロージャー用

お願い

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

IBM® System Storage® EXP2512 Express Storage™・エンクロージャーまたは IBM System Storage EXP2524 Express ストレージ・エンクロージャーをラック・キャビネットに取り付けるには、本書の説明をお読みください。

安全および配線に関する情報については、ラック・キャビネットに付属の資料を参照してください。

ストレージ・エンクロージャーをラック・キャビネットに取り付ける場合は、以下のガイドをよくお読みください。

- ・ 最大構成のストレージ・エンクロージャーをラックに取り付けるには、2 人の人員が必要です。装置の重量を軽くしてラックへの取り付けを容易にするためには、ハード・ディスクと電源機構を取り外します。
- ・ 室温が 35°C 以下であることを確認します。
- ・ 通風孔をふさがないようにします。通常は、適切な空気の流れを確保するためにスペースを 15 cm あけます。
- ・ 装置はラック・キャビネットの下部から取り付けるようにします。
- ・ 最も重い装置をラック・キャビネットの下部に取り付けます。
- ・ ラック・キャビネットから複数の装置を同時に引き出してはなりません。
- ・ ラック・キャビネットの装置の上または下に空間が生じないようにします。各構成装置に損傷を与えないようにするために、空間を埋めて適切な通気を確保するための空のフィラー・パネルを必ず取り付けてください。
- ・ すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続します。
- ・ ラックに複数の装置を取り付ける場合は、電源コンセントが過負荷にならないようにします。
- ・ シャーシ・ベゼルを取り付ける場合は、装置を平面上に置かないでください。
- ・ ラックの奥行き (縦のレールの内側の前部から後部にかけて測定) が 584 mm から 828 mm であることを確認します。
- ・ ストレージ・エンクロージャーは、ラック・キャビネットの縦方向に 2 U のスペースを必要とします。

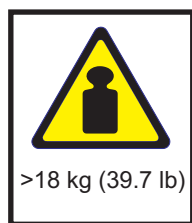
注: ラック・キャビネットは、1992 年 8 月 24 日に公開された、482.6 mm (19 インチ) ラック用の米国電子工業会 (EIA) 規格 EIA-310-D に準拠している必要があります。EIA-310-D 規格では、内部寸法、例えば、ラック開口部の幅 (シャーシの幅)、モジュール取り付けフランジの幅、取り付け穴のスペーシング、取り付けフランジの奥行きを規定しています。EIA-310-D 規格では、ラックの全体的な外部幅を管理していません。内部の取り付け用スペースに関連する側壁およびコーナー・ポストの位置についての制限はありません。



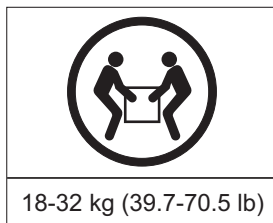
注意:



または



または



この部品または装置の重量は、18 kg から 32 kg (39.7 ポンドから 70.5 ポンド) の範囲にあります。この部品または装置を安全に持ち上げるには、2 人の人員が必要です。(C009)

危険

ラックに取り付けた装置を柵やワークスペースとして使用しないでください。

(L002)



取り付けの際には 5 mm のマイナス・ドライバーが必要です。#2 プラス・ドライバーと 8 mm レンチはオプションです。

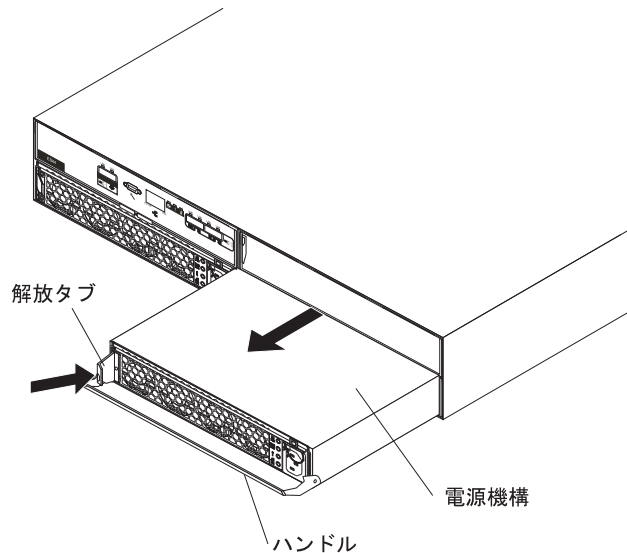
以下は、ストレージ・エンクロージャーをラック・キャビネットに取り付けるために必要な品目のリストです。欠落または損傷している品目がある場合は、購入先にお問い合わせください。

- レール・アセンブリー (2)
- M5 ねじ (8)
- 中サイズのブラケット・ピン (8) (出荷時にレールごとに 4 個取り付け済み)
- 小サイズと大サイズのブラケット・ピン (8) (IBM 製ではないラック・キャビネットへの取り付け用)

注: 静電気に弱い装置を取り外す際のガイドについては、ストレージ・エンクロージャーに付属の資料を参照してください。

ストレージ・エンクロージャーをラック・キャビネットに取り付けるには、以下のステップを実行します。

1. ストレージ・エンクロージャーに付属の安全上の注意をお読みください。
2. (オプション) ストレージ・エンクロージャーの重量を軽くしてラック・キャビネットへの取り付けを容易にするためには、電源機構を取り外します。電源機構を取り外すには、次のステップを実行します。
 - a. ハンドルを下方に回しながら、ハンドルが十分に解放される位置まで、電源機構の左側のオレンジ色の解放タブを右方向に (6.4 mm を超えないこと) 押します。

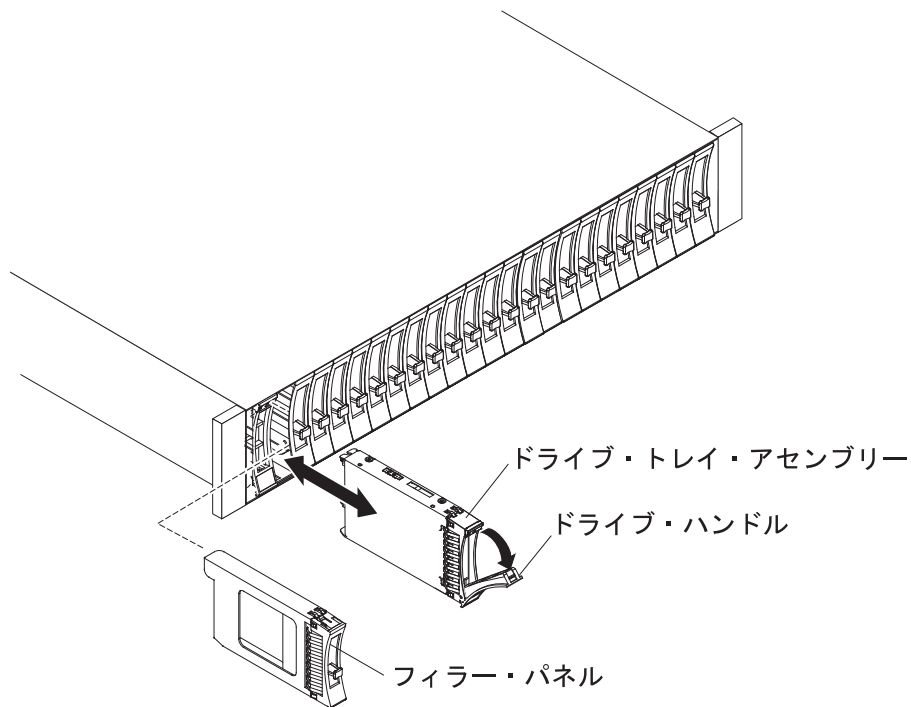


- b. 電源機構をストレージ・エンクロージャーから注意深く引き出します。
 - c. もう一方の電源機構についてもこの手順を繰り返してから、あとで取り付けるために両方の装置を脇に置きます。

3. (オプション) ストレージ・エンクロージャーの重量を軽くしてラック・キャビネットへの取り付けを容易にするためには、ハード・ディスクを取り外します。すべてのハード・ディスクについてもこの手順を繰り返します。

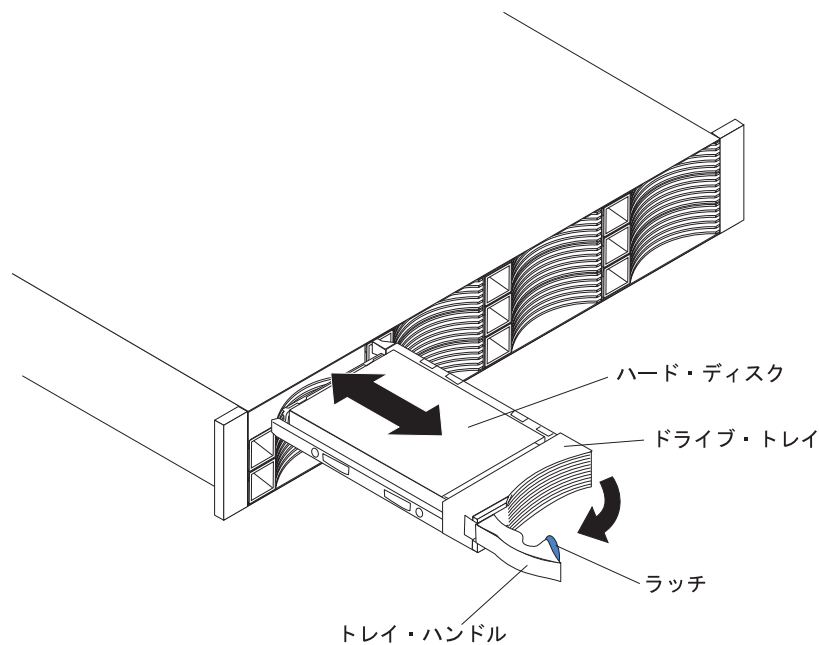
注:

- a. ハード・ディスクを取り外す前に、同じ位置に再取り付けできるようにそのハード・ディスクの位置に必ず印を付けてください。
 - b. ハード・ディスクの取り扱いは慎重に行い、積み重ねないでください。静電気に弱い装置に関するすべての予防措置を講じてください。
- 次のように 2.5 型ハード・ディスクを取り外します。
- a. オレンジ色のリリース・ラッチをゆっくり上にスライドさせて、ドライブ・ハンドルのロックを解除します。

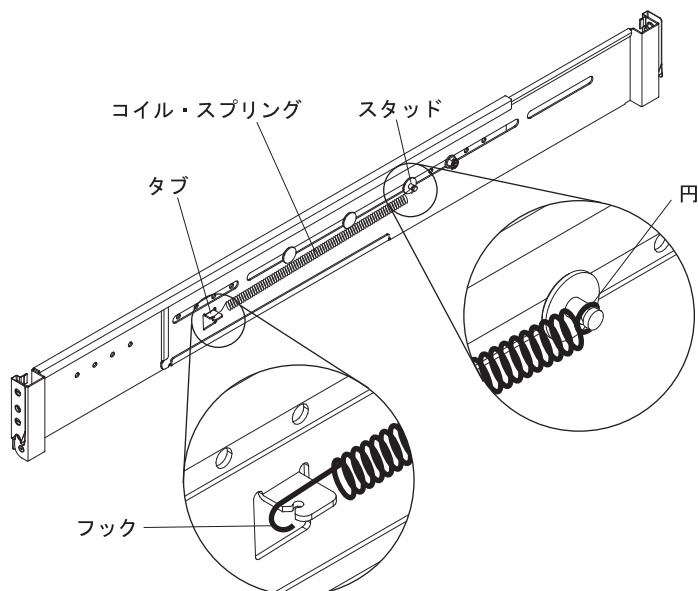


- b. ハンドルをつかみ、ドライブをベイから部分的に引き出して、少なくとも 20 秒待ってから、ドライブを EXP2500 から取り外します。こうすることによって、ドライブの回転が停止して、ドライブに起こり得る損傷を避けることができます。
- c. ハード・ディスク上に適切な識別情報 (ラベルなど) があることを確認してから、EXP2500 からゆっくりと完全にスライドさせて取り出します。

- 次のように 3.5 型ハード・ディスクを取り外します。
- a. トレイ・ハンドルの右端にあるラッチを押して解放します。



- b. トレイ・ハンドルを開位置まで引き出します。
 - c. ハンドルをつかみ、ドライブをベイから部分的に引き出して、少なくとも 20 秒待ってから、ドライブを EXP2500 から取り外します。こうすることによって、ドライブの回転が停止して、ドライブに起こり得る損傷を避けることができます。
 - d. ハード・ディスク上に適切な識別情報 (ラベルなど) があることを確認してから、EXP2500 からゆっくりと完全にスライドさせて取り出します。
4. スプリングをレールに取り付けるには、次のステップを実行します。
- a. レールに貼り付けられているスプリングを取り外します。
 - b. レール上のスタッドに、スプリングの円状の端を取り付けます。

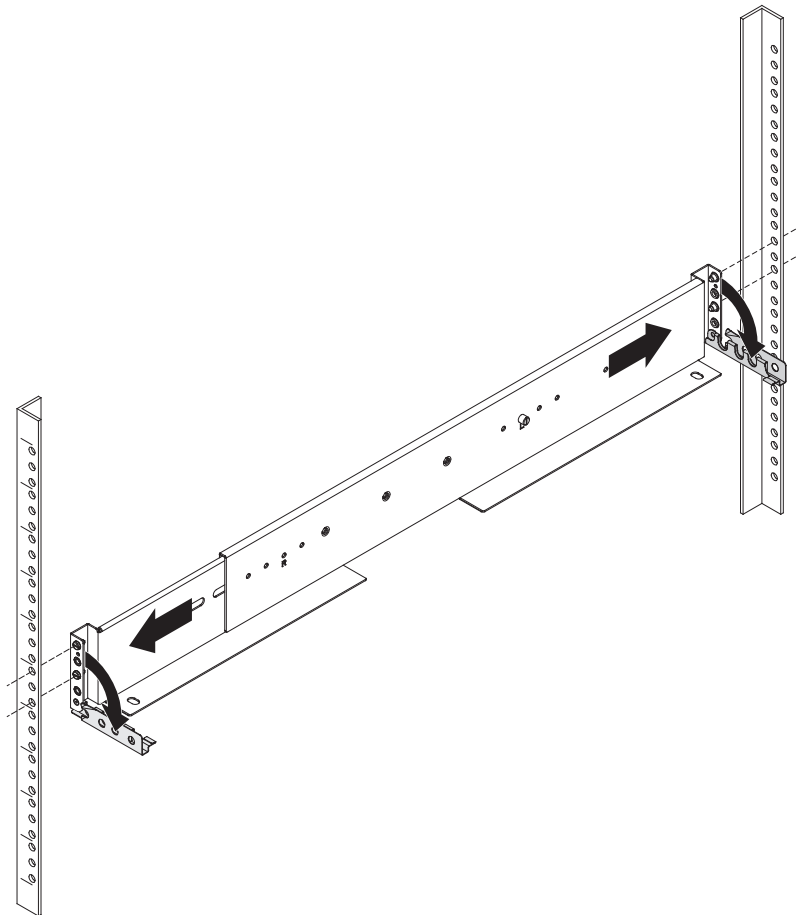


- c. スプリングを引っ張りながら、レール上のタブにスプリングのフック状の端を取り付けます。
 - d. 他方のレールに対しても ステップ 4 (5 ページ) を繰り返します。
5. ラック・キャビネットにレールを取り付けるには、次のステップを実行します。

注: 各レールの前面ブラケットと背面ブラケットには、それぞれ 2 個の中サイズのブラケット・ピンが付いています。中サイズのブラケット・ピンは、482.6 mm (19 インチ) の IBM ラック・キャビネットへの取り付け用です。

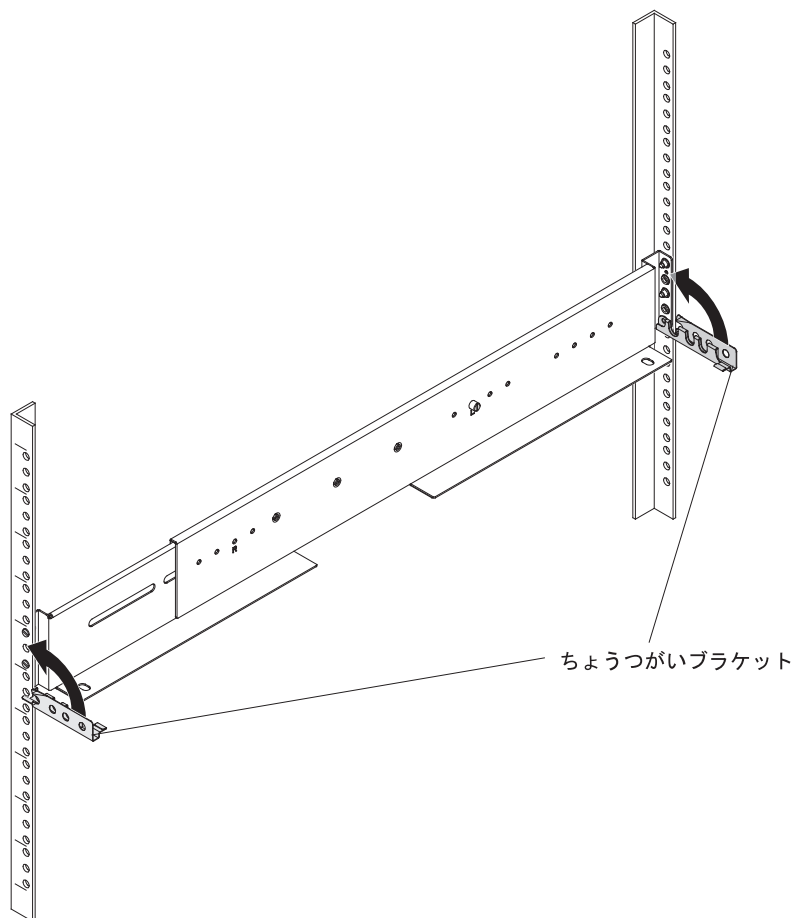
IBM 製ではないラック・キャビネットにストレージ・エンクロージャーを取り付ける場合は、レールの前部と後部にある中サイズのブラケット・ピン・セットを、レール・キットに付属のより大きなブラケット・ピンと交換してください。

- a. レールの両端のちょうつがいブラケットを開きます。



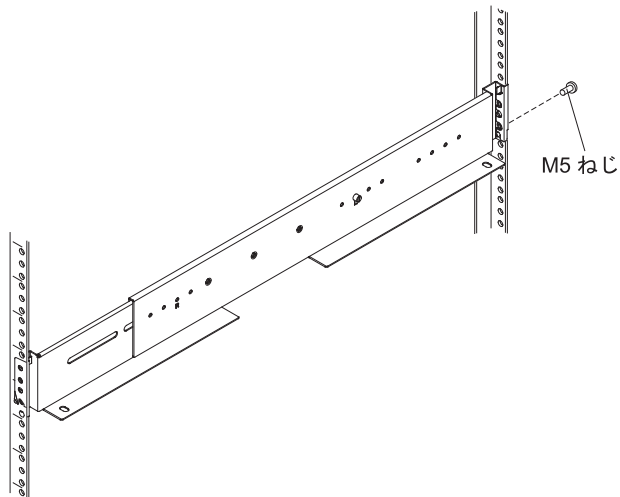
- b. レール・ブラケットの穴を、前面と背面のラック・キャビネット・フランジ上の穴に位置合わせします。レールの位置が、ラック・キャビネットの内側に合っていることを確認します。

- c. レールの後部で、2 つのブラケット・ピンをラック・フランジの穴に押し込み、後部のちょうつがいブラケットを閉めてレールをレール・キャビネット・フランジに固定します。

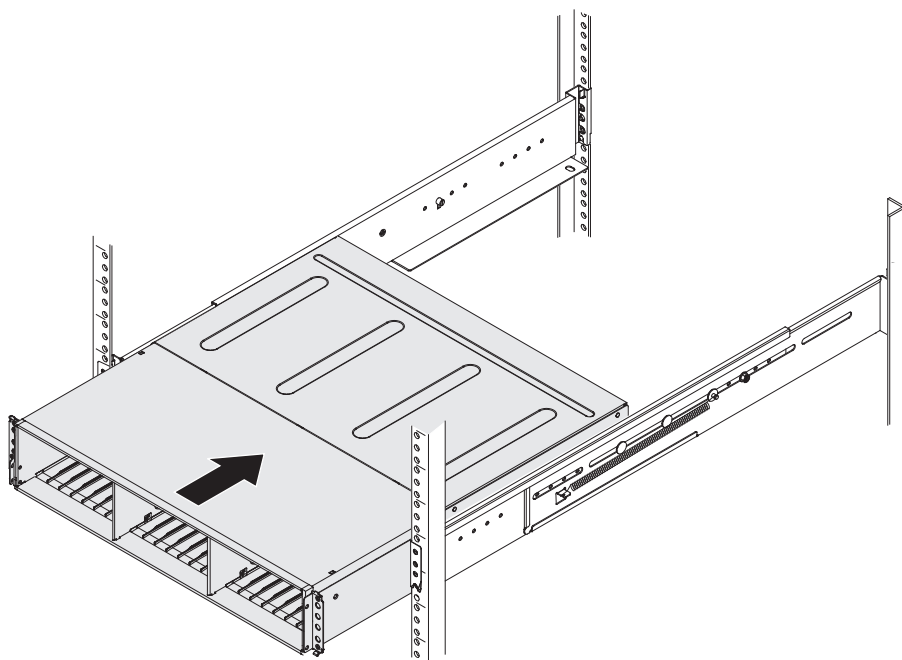


- d. レールの前部で、2 つのブラケット・ピンをラック・フランジの穴に押し込み、前部のちょうつがいブラケットを閉めてレールをレール・キャビネット・フランジに固定します。

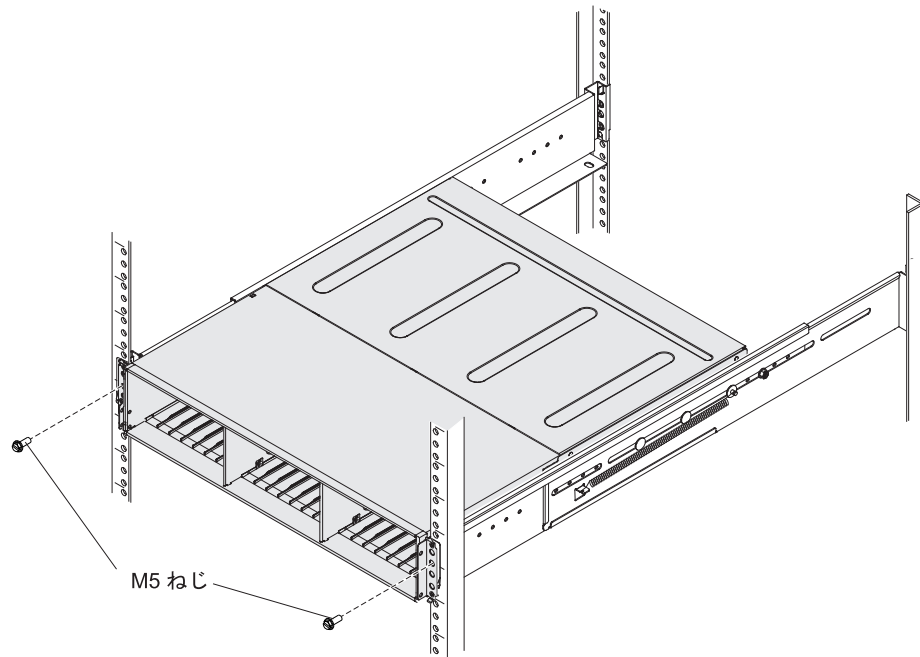
- e. ブラケットの底部の空き穴に 1 つの M5 ねじを挿入し、レールの後部を背面ラック・フランジに固定します。



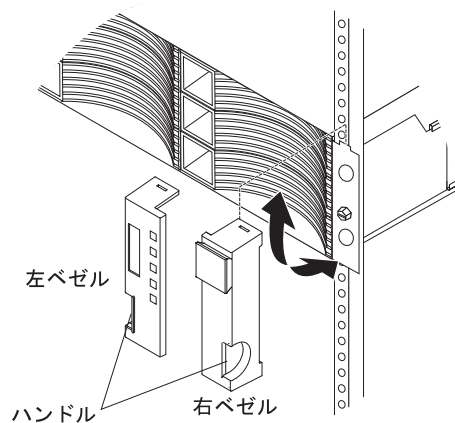
- f. 他方のレールに対してもステップ 5a (6 ページ) からステップ 5d (7 ページ) を繰り返します。
6. ストレージ・エンクロージャーをラック・キャビネットにスライドさせて入れます。



7. 各ブラケットの底部の空き穴に 1 つの M5 ねじを挿入し、ストレージ・エンクロージャの前面をラック・フランジに固定します。



8. 電源機構とハード・ディスクを再取り付けするには、ステップ 2 (3 ページ) とステップ 3 (4 ページ) の手順を逆に実行します。
9. 電源コードを各電源機構に接続します。電源コードが誤って切断されないようにするために、張力緩和についての電源コード・ガイドを使用してください。
10. 左ベゼル (LED 付き) と右ベゼルを取り付けます。ベゼルの上部のスロットをシャーシ・フランジ上のタブにはめ込んで、所定の位置に収まるまでベゼルを下方に回転させます。ベゼルの内側の面がシャーシとぴったり重なることを確認します。



ストレージ・エンクロージャの取り付けと操作について詳しくは、ストレージ・エンクロージャに付属の IBM Documentation CD 上の、「IBM System Storage EXP2512 Express ストレージ・エンクロージャ」と IBM System Storage EXP2524 Express ストレージ・エンクロージャの取り付け、メンテナンスおよびユーザーのガイド」を参照してください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： Rack Installation Instructions
For System Storage EXP2512 and EXP2524 Express Storage Enclosures

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第1刷 2010.10

IBM は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

Printed in Japan

© Copyright IBM Corporation 2010.

(1P) P/N: 81Y1226

